



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

平成28年7月29日

上場会社名 アステラス製薬株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4503 URL <http://www.astellas.com/jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長CEO （氏名） 畑中 好彦
 問合せ先責任者（役職名） 広報部長 （氏名） 臼井 政明 (TEL) 03(3244)3201
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月5日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有 (証券アナリスト・機関投資家・報道機関向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		四半期純利益		親会社の所有者に帰属する四半期純利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	337,752	△1.7	92,866	50.0	93,184	37.7	66,613	49.3	66,613	49.3	△34,006	—
28年3月期第1四半期	343,659	16.4	61,911	22.4	67,664	34.6	44,622	24.4	44,622	24.4	71,834	219.0

	基本的1株当たり 四半期純利益	希薄化後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	31.35	31.31
28年3月期第1四半期	20.38	20.35

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	1,693,626	1,190,527	1,190,527	70.3
28年3月期	1,799,338	1,259,209	1,259,209	70.0

2. 配当の状況

	年 間 配 当 金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	16.00	—	16.00	32.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	17.00	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		当期純利益		親会社の所有者に 帰属する当期純利益		基本的1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	1,350,000	△1.7	267,000	7.2	268,000	2.4	197,000	1.7	197,000	1.7	92.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

コアベースでの連結業績予想は次のとおりです。

(%表示は対前期増減率)

	売上高		コア営業利益		コア当期純利益		基本的1株当たり コア当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	1,350,000	△1.7	270,000	1.0	199,000	0.1	93.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は、会社の経常的な収益性を示す指標としてコアベースの業績を開示しています。コアベースの業績の定義につきましては、添付資料P.2に記載しています。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期第1四半期	2,153,823,175株	28年3月期	2,221,823,175株
② 期末自己株式数	29年3月期第1四半期	29,208,210株	28年3月期	96,844,512株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期第1四半期	2,124,741,835株	28年3月期第1四半期	2,189,293,326株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想及び添付資料に含まれる将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確定な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料P.8をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

四半期決算短信の開示とあわせて四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会資料を開示しています。

また、平成28年7月29日（金）に証券アナリスト・機関投資家・報道機関向けにカンファレンス・コールを開催する予定です。このカンファレンス・コールの音声については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	8
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	9
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更	9
3. 要約四半期連結財務諸表	10
(1) 要約四半期連結純損益計算書	10
(2) 要約四半期連結包括利益計算書	11
(3) 要約四半期連結財政状態計算書	12
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	14
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	16
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	17
(継続企業の前提に関する注記)	17
(企業結合)	17

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

<連結業績（コアベース^(注)）>

当第1四半期（2016年4月1日から6月30日）の連結業績（コアベース）は、以下の通り、売上高は減収、コア営業利益、コア四半期純利益は増益となりました。

[連結業績（コアベース）]

（単位：百万円）

	前第1四半期 (2016年3月期)	当第1四半期 (2017年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
売上高	343,659	337,752	△5,907 (△1.7%)
コア営業利益	67,820	93,951	26,131 (38.5%)
コア四半期純利益	45,031	67,148	22,117 (49.1%)
基本的1株当たり コア四半期純利益（円）	20.57	31.60	11.03 (53.6%)

<研究開発費>

（単位：百万円）

	前第1四半期	当第1四半期	増減
研究開発費	55,980	51,022	△4,958 (△8.9%)

(注) 当社は、会社の経常的な収益性を示す指標としてコアベースの業績を開示しています。当該コアベースの業績は、フルベースの業績から当社が定める非経常的な項目を調整項目として除外したものです。調整項目には、減損損失、有形固定資産売却損益、リストラクチャリング費用、災害による損失、訴訟等による多額の賠償又は和解費用などのほか、当社が除外すべきと判断する項目が含まれます。なお、フルベースの実績からコアベースの実績への調整表は、決算補足資料の21ページに記載しています。

【為替の業績への影響】

当第1四半期の為替レートは、下表の通りです。これらの結果、前第1四半期の為替レートを適用した場合と比べ、売上高においては256億円の減収、コア営業利益においては4億円の増益の影響がありました。

期中平均レート	前第1四半期	当第1四半期	変動
米ドル/円	121	108	13円高
ユーロ/円	134	122	12円高

期首・期末の変動	前第1四半期	当第1四半期
米ドル/円	2円安	10円高
ユーロ/円	7円安	13円高

【売上高】

連結売上高は3,378億円（前年同期比1.7%減）となりました。

- ・ 為替の影響に加え、本年4月に日本で実施された薬価改定の影響などもあり、減収となりました。
- ・ グローバル製品については、前立腺がん治療剤 **XTANDI** / **イクスタンジ** のほか、**ベシケア** と **ベタニス** / **ミラベトリック** / **ベットミガ** を合わせた過活動膀胱（OAB）治療剤の売上が拡大しました。また、免疫抑制剤 **プログラフ** の売上は為替の影響により減少しましたが、その影響を除いたベースでは増加しました。

（地域別売上高の状況）

※地域別売上高については売上元会社の所在地に基づき集計しています。

◇ 日本

日本の売上高は1,242億円（同1.1%減）となりました。このうち、日本市場での売上高は薬価改定の影響などもあり、1,148億円（同6.1%減）となりました。

- ・ **ベシケア** と **ベタニス** を合わせた OAB 治療剤、消炎鎮痛剤 **セレコックス**、成人気管支喘息治療剤 **シムビコート** などの売上が拡大しました。
- ・ **イクスタンジ** の売上が薬価改定の影響を受け減少しました。
- ・ また、ワクチンの売上が昨年度実施された製造元の出荷自粛の影響が続いたことなどにより減少したほか、高コレステロール血症治療剤 **リピツール** や消化性潰瘍・胃炎治療剤 **ガスター** などの売上が、後発医薬品の影響などにより減少しました。

◇ 米州

米州の売上高は1,076億円（同6.3%減）となりました。なお、現地通貨ベースでの売上高は995百万ドル（同5.2%増）となりました。

- ・ XTANDIの売上が拡大したほか、アゾール系抗真菌剤クレセンバが売上に貢献しました。
- ・ ベシケアとミラベトリックを合わせた OAB 治療剤のほか、プログラフ、心機能検査補助剤レキスキャンなどの売上が為替の影響により減少しました。なお、現地通貨ベースでの売上はそれぞれ拡大しました。

◇ EMEA*

EMEAの売上高は853億円(同4.4%増)となりました。なお、現地通貨ベースでの売上高は699百万ユーロ(同14.8%増)となりました。

- ・ XTANDIの売上が拡大しました。
- ・ ベシケアとベットミガを合わせた OAB 治療剤、プログラフの売上は為替の影響などにより減少しました。なお、プログラフの現地通貨ベースでの売上は拡大しました。

*EMEA：欧州・中東・アフリカ

◇ アジア・オセアニア

アジア・オセアニアの売上高は207億円(同3.8%減)となりました。

- ・ XTANDI、ベシケアとベットミガを合わせた OAB 治療剤、前立腺肥大症の排尿障害改善剤ハルナールの売上は増加しました。
- ・ プログラフの売上は為替の影響により減少しました。

【コア営業利益／コア四半期純利益】

- ・ 売上高の減少を上回る売上原価の減少により、売上総利益は2,663億円(同5.0%増)となりました。なお、売上原価率は製品構成の変化に加え、グループ間取引における未実現利益消去に伴う為替の影響などにより、前年同期に比べ5.1ポイント低下し、21.2%となりました。
- ・ 販売費及び一般管理費は、為替の影響などにより、1,119億円(同5.7%減)となりました。
- ・ 研究開発費は、開発プロジェクトの着実な進展がありましたが、為替の影響などもあり、510億円(同8.9%減)となりました。対売上高研究開発費比率は、前年同期に比べ1.2ポイント低下し、15.1%となりました。
- ・ 無形資産償却費は、90億円(同17.5%減)となりました。

以上の結果、コア営業利益は940億円(同38.5%増)となりました。

また、コア四半期純利益は671億円(同49.1%増)、基本的1株当たりコア四半期純利益は31.60円(同53.6%増)となりました。

本年4月にグローバル皮膚科事業を譲渡したことに伴い、譲渡された製品の売上、諸経費が計上されない一方で、受領した譲渡対価を一定期間にわたり収益として認識しています。この結果、当第1四半期において売上高、利益に一定程度のプラスの影響がありました。

<連結業績（フルベース）>

当第1四半期の連結業績（フルベース）は、以下の通り、売上高は減収、営業利益、税引前四半期利益、四半期純利益は増益となりました。

フルベースの業績には、コアベースの業績で除外される「その他の費用」（減損損失、有形固定資産売却損、リストラクチャリング費用など）、売却可能金融資産の売却益（「金融収益」に計上）などが含まれています。

当第1四半期における、「その他の費用」は13億円（前年同期：72億円）、売却可能金融資産の売却益は7億円（前年同期：55億円）でした。

[連結業績（フルベース）]

（単位：百万円）

	前第1四半期 (2016年3月期)	当第1四半期 (2017年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
売上高	343,659	337,752	△5,907 (△1.7%)
営業利益	61,911	92,866	30,955 (50.0%)
税引前四半期利益	67,664	93,184	25,521 (37.7%)
四半期純利益	44,622	66,613	21,991 (49.3%)
基本的1株当たり 四半期純利益(円)	20.38	31.35	10.97 (53.8%)
四半期包括利益	71,834	△34,006	△105,840 (-)

(2) 財政状態に関する説明

①資産、資本及び負債の状況

当第1四半期末(2016年6月30日時点)の連結財政状態計算書の概要及び前期末からの主な変動は以下の通りです。

【資産】

当第1四半期末における総資産は1兆6,936億円(前期末比1,057億円減)となりました。

<非流動資産>当第1四半期末:8,547億円(同471億円減)

・その他の無形資産は3,196億円(同161億円減)となりました。

<流動資産>当第1四半期末:8,389億円(同586億円減)

・現金及び現金同等物は3,120億円(同480億円減)となりました。

【資本】

資本合計は、1兆1,905億円(同687億円減)となり、親会社所有者帰属持分比率は70.3%となりました。

- ・四半期純利益666億円を計上した一方で、剰余金の配当340億円を実施しました。
- ・在外営業活動体の換算差額が資本の減少方向に951億円変動しました。
- ・なお、2016年6月20日に自己株式の消却1,102億円(6,800万株)を実施しました。

【負債】

負債の合計は、5,031億円(同370億円減)となりました。

<非流動負債>当第1四半期末:1,065億円(同202億円減)

<流動負債>当第1四半期末:3,966億円(同168億円減)

②キャッシュ・フローの状況

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

当第1四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、182億円（前年同期比115億円減）となりました。

- ・ 法人所得税の支払額が232億円となりました。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

当第1四半期の投資活動によるキャッシュ・フローは、△66億円（同17億円支出減）となりました。

- ・ 有形固定資産の取得による支出74億円（同18億円減）などがありました。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

当第1四半期の財務活動によるキャッシュ・フローは、△352億円（同210億円支出減）となりました。

- ・ 配当金の支払額は340億円（同11億円減）となりました。

上記のほか、為替レート変動による影響（244億円減）もあり、当第1四半期末における現金及び現金同等物の残高は、3,120億円（前期比480億円減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、当期の連結業績予想について、コアベース及びフルベースでの業績予想を開示しています。

当期（2017年3月期）の通期連結業績予想は以下の通りです。2016年5月に公表しました業績予想から大きな変動が見込まれていないため、これを据え置き修正していません。

[通期連結業績予想（コアベース）]

(単位：百万円)

	2016年3月期 通期実績	2017年3月期 通期予想	増減額 (増減率)
売上高	1,372,706	1,350,000	△22,706 (△1.7%)
コア営業利益	267,456	270,000	2,544 (1.0%)
コア当期純利益	198,802	199,000	198 (0.1%)
基本的1株当たり コア当期純利益(円)	92.12	93.65	1.53 (1.7%)

[通期連結業績予想（フルベース）]

(単位：百万円)

	2016年3月期 通期実績	2017年3月期 通期予想	増減額 (増減率)
売上高	1,372,706	1,350,000	△22,706 (△1.7%)
営業利益	248,986	267,000	18,014 (7.2%)
税引前利益	261,770	268,000	6,230 (2.4%)
当期純利益	193,687	197,000	3,313 (1.7%)
基本的1株当たり 当期純利益(円)	89.75	92.71	2.96 (3.3%)

当期の想定為替レート：110円/米ドル、125円/ユーロ

前期の為替レート(実績)：120円/米ドル、133円/ユーロ

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更

本要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一です。

なお、当第1四半期連結累計期間の法人所得税は、見積年次実効税率を基に算定しています。

3. 要約四半期連結財務諸表

(1) 要約四半期連結純損益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)
売上高	343,659	337,752
売上原価	△90,079	△71,465
売上総利益	253,581	266,287
販売費及び一般管理費	△118,662	△111,885
研究開発費	△55,980	△51,022
無形資産償却費	△10,882	△8,982
持分法による損益	△236	△446
その他の収益	1,262	230
その他の費用	△7,171	△1,315
営業利益	61,911	92,866
金融収益	6,029	1,218
金融費用	△277	△899
税引前四半期利益	67,664	93,184
法人所得税	△23,042	△26,572
四半期純利益	44,622	66,613
四半期純利益の帰属		
親会社の所有者	44,622	66,613
1株当たり四半期純利益		
基本的1株当たり四半期純利益(円)	20.38	31.35
希薄化後1株当たり四半期純利益(円)	20.35	31.31

(2) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)
四半期純利益	44,622	66,613
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
確定給付制度に係る再測定	1,254	△1,496
小計	1,254	△1,496
純損益にその後に振替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	28,762	△95,141
売却可能金融資産の公正価値の変動	△2,803	△3,981
小計	25,959	△99,122
税引後その他の包括利益合計	27,213	△100,618
四半期包括利益合計	71,834	△34,006
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	71,834	△34,006

(3) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2016年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2016年6月30日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	200,955	192,135
のれん	152,920	139,661
その他の無形資産	335,698	319,620
売上債権及びその他の債権	24,103	26,599
持分法で会計処理されている投資	2,435	1,829
繰延税金資産	81,497	79,980
その他の金融資産	89,424	81,581
その他の非流動資産	14,769	13,294
非流動資産合計	901,801	854,699
流動資産		
棚卸資産	161,691	158,219
売上債権及びその他の債権	327,599	336,070
未収法人所得税	16,403	3,303
その他の金融資産	14,394	12,726
その他の流動資産	17,221	16,624
現金及び現金同等物	360,030	311,985
小計	897,337	838,927
売却目的で保有する資産	200	—
流動資産合計	897,537	838,927
資産合計	1,799,338	1,693,626

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2016年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2016年6月30日)
資本及び負債		
資本		
資本金	103,001	103,001
資本剰余金	176,903	176,913
自己株式	△157,111	△47,405
利益剰余金	973,054	893,849
その他の資本の構成要素	163,363	64,169
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,259,209	1,190,527
資本合計	1,259,209	1,190,527
負債		
非流動負債		
仕入債務及びその他の債務	1,599	1,158
退職給付に係る負債	39,797	39,295
引当金	7,083	8,491
その他の金融負債	722	828
その他の非流動負債	77,569	56,758
非流動負債合計	126,769	106,531
流動負債		
仕入債務及びその他の債務	181,559	158,790
未払法人所得税	19,312	9,116
引当金	89,858	81,074
その他の金融負債	1,505	36,486
その他の流動負債	121,126	111,101
流動負債合計	413,359	396,568
負債合計	540,129	503,099
資本及び負債合計	1,799,338	1,693,626

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					新株予約権	在外営業活動体の換算差額
2015年4月1日残高	103,001	176,822	△86,997	905,083	2,241	177,306
四半期包括利益						
四半期純利益	—	—	—	44,622	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—	28,762
四半期包括利益合計	—	—	—	44,622	—	28,762
資本で直接認識された所有者との取引						
自己株式の取得	—	—	△20,937	—	—	—
自己株式の処分	—	—	76	△37	△39	—
自己株式の消却	—	—	49,577	△49,577	—	—
配当金	—	—	—	△35,090	—	—
株式報酬取引	—	—	—	—	73	—
振替	—	—	—	1,254	—	—
資本で直接認識された所有者との取引合計	—	—	28,716	△83,450	34	—
2015年6月30日残高	103,001	176,822	△58,281	866,255	2,274	206,068

2016年4月1日残高	103,001	176,903	△157,111	973,054	2,126	132,134
四半期包括利益						
四半期純利益	—	—	—	66,613	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—	△95,141
四半期包括利益合計	—	—	—	66,613	—	△95,141
資本で直接認識された所有者との取引						
自己株式の取得	—	—	△765	—	—	—
自己株式の処分	—	△78	253	△103	△71	—
自己株式の消却	—	—	110,219	△110,219	—	—
配当金	—	—	—	△34,000	—	—
株式報酬取引	—	88	—	—	—	—
振替	—	—	—	△1,496	—	—
資本で直接認識された所有者との取引合計	—	10	109,706	△145,817	△71	—
2016年6月30日残高	103,001	176,913	△47,405	893,849	2,055	36,993

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				資本合計
	その他の資本の構成要素			合計	
	売却可能金融 資産の公正価 値の変動	確定給付制度 に係る再測定	合計		
2015年4月1日残高	40,461	—	220,007	1,317,916	1,317,916
四半期包括利益					
四半期純利益	—	—	—	44,622	44,622
その他の包括利益	△2,803	1,254	27,213	27,213	27,213
四半期包括利益合計	△2,803	1,254	27,213	71,834	71,834
資本で直接認識された所有者 との取引					
自己株式の取得	—	—	—	△20,937	△20,937
自己株式の処分	—	—	△39	0	0
自己株式の消却	—	—	—	—	—
配当金	—	—	—	△35,090	△35,090
株式報酬取引	—	—	73	73	73
振替	—	△1,254	△1,254	—	—
資本で直接認識された所有者 との取引合計	—	△1,254	△1,220	△55,954	△55,954
2015年6月30日残高	37,658	—	246,000	1,333,796	1,333,796

2016年4月1日残高	29,103	—	163,363	1,259,209	1,259,209
四半期包括利益					
四半期純利益	—	—	—	66,613	66,613
その他の包括利益	△3,981	△1,496	△100,618	△100,618	△100,618
四半期包括利益合計	△3,981	△1,496	△100,618	△34,006	△34,006
資本で直接認識された所有者 との取引					
自己株式の取得	—	—	—	△765	△765
自己株式の処分	—	—	△71	0	0
自己株式の消却	—	—	—	—	—
配当金	—	—	—	△34,000	△34,000
株式報酬取引	—	—	—	88	88
振替	—	1,496	1,496	—	—
資本で直接認識された所有者 との取引合計	—	1,496	1,425	△34,677	△34,677
2016年6月30日残高	25,122	—	64,169	1,190,527	1,190,527

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	67,664	93,184
減価償却費及び無形資産償却費	17,374	15,970
減損損失及びその戻入益	6,357	—
金融収益及び金融費用	△5,752	△318
棚卸資産の増減額	4,174	△10,947
売上債権及びその他の債権の増減額	△23,149	△36,638
仕入債務及びその他の債務の増減額	△31,544	△5,253
その他の調整	20,378	△14,678
営業活動から生じたキャッシュ・フロー	55,501	41,320
法人所得税の支払額	△25,859	△23,170
営業活動によるキャッシュ・フロー	29,642	18,150
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,236	△7,420
有形固定資産の売却による収入	342	485
無形資産の取得による支出	△5,924	△1,012
売却可能金融資産の取得による支出	△8	△189
売却可能金融資産の売却による収入	7,922	993
利息及び配当金の受取額	576	572
その他	△1,922	△11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,250	△6,583
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△20,937	△765
親会社の所有者への配当金の支払額	△35,090	△34,000
その他	△196	△472
財務活動によるキャッシュ・フロー	△56,223	△35,237
為替レート変動による影響	9,937	△24,375
現金及び現金同等物の純増減額	△24,893	△48,044
現金及び現金同等物の期首残高	396,430	360,030
現金及び現金同等物の四半期末残高	371,537	311,985

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(企業結合)

当第1四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)

現金を対価とする株式公開買付により、オカタセラピューティクス Inc. (2016年5月に社名をアステラス インスティテュート フォー リジェネレイティブ メディシンに変更)は2016年2月10日に当社の連結子会社となっています。

当第1四半期連結累計期間において、当該企業結合における取得日現在の取得資産及び引受負債の公正価値の測定に関して、新たな事実が判明し追加的な分析を行ったため、下記のとおり、一部の取得資産及び引受負債の暫定的な公正価値を修正しています。

(単位：百万円)

	当初の暫定的な 公正価値	その後の修正	修正後の公正価値
有形固定資産	151	—	151
その他の無形資産	17,456	△3,736	13,720
繰延税金資産	3,167	1,327	4,494
現金及び現金同等物	1,084	—	1,084
その他の資産	41	—	41
その他の負債	△2,494	—	△2,494
取得資産及び引受負債の公正価値 (純額)	19,405	△2,409	16,996
のれん	24,332	2,409	26,741
合計	43,737	—	43,737
支払対価の公正価値	43,737	—	43,737

また、この暫定的な公正価値の修正に伴い、前連結会計年度の要約四半期連結財政状態計算書を遡及修正しています。その結果、前連結会計年度ののれん、繰延税金資産がそれぞれ2,260百万円、1,245百万円増加し、その他の無形資産が3,504百万円減少しています。

なお、当該公正価値の測定は継続中であるため、企業結合当初の会計処理は完了していません。

2017年3月期第1四半期 決算補足資料

【業績情報 (IFRS)】

第1四半期連結

1. 連結損益の詳細(フルベース)
2. 連結損益の詳細(コアベース)
3. 為替レートの状況
4. フルベースからコアベースへの調整表
5. 地域別売上高
6. 償却費の状況
7. 主要製品の売上高
8. 連結財政状態計算書

【開発品情報】

新薬開発状況

(注意事項)

この資料に記載されている現在の計画、予想、戦略、想定に関する記述およびその他の過去の事実ではない記述は、アステラスの業績等に関する将来の見通しです。これらの記述は経営陣の現在入手可能な情報に基づく見積りや想定によるものであり、既知および未知のリスクと不確実な要素を含んでいます。さまざまな要因によって、これら将来の見通しは実際の結果と大きく異なる可能性があります。その要因としては、

(i) 医薬品市場における事業環境の変化および関係法規制の改正、(ii) 為替レートの変動、(iii) 新製品発売の遅延、(iv) 新製品および既存品の販売活動において期待した成果を得られない可能性、(v) 競争力のある新薬を継続的に生み出すことができない可能性、(vi) 第三者による知的財産の侵害などがありますが、これらに限定されるものではありません。また、この資料に含まれている医薬品(開発中のものを含む)に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

2. 連結損益の詳細(コアベース)

(単位: 億円)

	16/3期 1Q	17/3期 1Q	増減	増減率
売上高	3,437	3,378	-59	-1.7%
売上原価	901	715	-186	-20.7%
(売上高比率)	26.2%	21.2%		
売上総利益	2,536	2,663	127	5.0%
販売費・一般管理費	1,187	1,119	-68	-5.7%
(売上高比率)	34.5%	33.1%		
内、広告費、販売促進費	416	358	-58	-13.9%
内、人件費	451	435	-16	-3.5%
内、その他	320	326	6	1.9%
研究開発費	560	510	-50	-8.9%
(売上高比率)	16.3%	15.1%		
無形資産償却費	109	90	-19	-17.5%
持分法による損益	-2	-4	-2	-
営業利益	678	940	261	38.5%
(売上高比率)	19.7%	27.8%		
金融収益	6	6	0	2.8%
金融費用	1	6	5	624.3%
税引前四半期利益	683	939	256	37.5%
(売上高比率)	19.9%	27.8%		
法人所得税	233	268	35	15.1%
四半期純利益	450	671	221	49.1%
(売上高比率)	13.1%	19.9%		

	17/3期 通期予想	増減率
	13,500	-1.7%
	2,310	2.4%
	17.1%	
	2,700	1.0%
	20.0%	
	1,990	0.1%
	14.7%	

3. 為替レートの状況

	16/3期 1Q	17/3期 1Q	16/3 期末	16/6 期末
USD/円	121	108	113	103
EUR/円	134	122	128	114

	17/3期 通期予想
	110
	125

*為替レートの変動により、当第 四半期において売上高で256億円の減収、コア営業利益で4億円の増益の影響

4. フルベースからコアベースへの調整表

(単位:億円)

	16/3期 1Q		17/3期 1Q	
	フルベース	調整	コアベース	調整
売上高	3,437	-	3,437	-
売上原価	901	-	901	-
売上総利益	2,536	-	2,536	-
販売費及び一般管理費	1,187	-	1,187	-
研究開発費	560	-	560	-
無形資産償却費	109	-	109	-
持分法による損益	-2	-	-2	-
その他の収益 *1	13	-13	-	-2
その他の費用 *1	72	-72	-	-13
営業利益	619	59	678	11
金融収益 *2	60	-55	6	-7
金融費用 *2	3	-2	1	-3
税引前利益	677	6	683	7
法人所得税	230	2	233	2
四半期純利益	446	4	450	5

*1: コア実績では「その他の収益」及び「その他の費用」は除外されています。

「その他の収益」及び「その他の費用」には、有形固定資産の除売却に伴う損益、減損損失、リストラクチャリング費用、訴訟関係費用のほか、為替差損益などが含まれています。

*2: 「金融収益」と「金融費用」の内、売却可能金融資産の売却に伴う損益や減損損失は、調整項目としてコア実績では除外されています。

5. 地域別売上高

	(単位: 億円)			
	16/3期 1Q	17/3期 1Q	増減	増減率
外部売上高	3,437	3,378	-59	-1.7%
日本	1,256 (構成比 36.6%)	1,242 36.8%	-14	-1.1%
米州	1,148 (構成比 33.4%)	1,076 31.8%	-72	-6.3%
EMEA	817 (構成比 23.8%)	853 25.3%	36	4.4%
アジア・オセアニア	215 (構成比 6.3%)	207 6.1%	-8	-3.8%
17/3期 通期予想	13,500			
	4,808			
	35.6%			
	4,412			
	32.7%			
	3,396			
	25.2%			
	883			
	6.5%			

注1: 売上元会社の所在地に基づき集計

注2: EMEA 欧州・中東・アフリカ

6. 設備投資・償却費の状況

	(単位: 億円)			
	16/3期 1Q	17/3期 1Q	増減	増減率
減価償却費(有形固定資産)				
連結	50	55	5	9.9%
償却費(無形資産)*				
連結	124	104	-19	-15.4%
17/3期 通期予想				
	220			
				5.0%
	435			
				-9.8%

* 償却費(無形資産)には、ソフトウェア等の償却費が含まれる

7. 主要製品の売上高

1) グローバル製品

	(単位:億円)				増減率
	16/3期 1Q	17/3期 1Q	増減	増減率	
XTANDI/イクスタンジ	591	642	52	8.7%	
米国	362	357	-5	-1.4%	17.4%
米国以外	228	285	57	24.8%	10.3%
内、日本	68	61	-7	-10.7%	27.5%
内、米州(米国以外)	10	18	7	70.0%	-2.0%
内、EMEA	146	200	54	37.0%	36.3%
内、アジア・オセアニア	4	7	3	62.5%	35.8%
エリガード	44	44	-0	-0.1%	88.2%
EMEA	44	44	-0	-0.6%	0.1%
アジア・オセアニア	0	1	0	59.5%	-0.7%
ベシケア	354	304	-50	-14.0%	3
日本	68	70	1	1.7%	1,191
米州	171	136	-35	-20.5%	272
EMEA	102	87	-15	-14.8%	537
アジア・オセアニア	12	12	-0	-3.3%	324
ベタニス/ミラベトリック/バットミガ	181	236	55	30.1%	54
日本	49	64	16	32.5%	1,004
米州	98	129	31	31.4%	274
EMEA	33	35	2	6.4%	519
アジア・オセアニア	1	7	6	606.9%	183
ハルナール/オムニック	142	121	-21	-14.6%	28
自社販売計	133	115	-18	-13.3%	464
日本	34	26	-9	-25.1%	442
EMEA	47	37	-11	-22.5%	94
アジア・オセアニア	50	52	2	3.3%	137
ハルレク・ロイヤリティ等	9	6	-3	-34.4%	205
プログラフ	504	494	-10	-1.9%	22
自社販売計	499	487	-12	-2.4%	1,879
日本(グラセプター含む)	127	129	2	1.4%	1,854
米州	84	77	-7	-8.4%	478
EMEA	196	190	-6	-2.8%	269
内、アドバグラフ	75	79	4	5.1%	736
アジア・オセアニア	92	90	-1	-1.3%	
輸出外部売上	5	8	2	45.6%	371
ファンガード/マイカミン	103	100	-3	-2.5%	25
日本	29	27	-2	-7.0%	404
米州	33	31	-2	-4.9%	115
EMEA	28	28	-1	-2.8%	118
アジア・オセアニア	13	15	2	14.9%	112
					60

注1: 個別製品の売上高のうち、日本の売上高の開示は仕切価ベース

注2: EMEA 欧州・中東・アフリカ

2) 日本の主要製品

(単位:億円)

	16/3期 1Q	17/3期 1Q	増減	増減率
＜グローバル品(再掲)＞				
イクスタンジ	68	61	-7	-10.7%
ベシケア	68	70	1	1.7%
ベタニス	49	64	16	32.5%
ハルナール	34	26	-9	-25.1%
プログラフ(グラセプター含む)	127	129	2	1.4%
ファンガード	29	27	-2	-7.0%
＜日本のローカル品＞				
ミカルデイス [ファミリー]	248	247	-1	-0.4%
内、ミコンビ	27	25	-1	-4.8%
内、ミカムロ	65	68	3	5.2%
セレコックス	118	124	6	4.9%
シムビコート	90	98	8	9.3%
ボノテオ	37	36	-0	-0.8%
ジェニナック	28	25	-3	-12.5%
ワクチン	66	38	-28	-42.4%
アーガメイト	15	15	0	-0.4%
キックリン	4	4	0	-1.6%
ゴナックス	9	11	1	14.7%
シムジア	16	19	3	20.8%
スーグラ	20	23	3	14.9%
リトール	83	64	-19	-22.8%
マイズリー	47	39	-7	-15.8%
ガスター	39	30	-10	-24.6%
セロクエル	30	22	-7	-25.3%
日本市場の合計	1,222	1,148	-75	-6.1%

注:売上高の開示は仕切価ベース

3) 海外の主要製品

(単位:億円)

	16/3期 1Q	17/3期 1Q	増減	増減率
タルセバ	131	94	-37	-28.4%
米国	97	68	-29	-30.2%
米国以外	34	26	-8	-23.3%
スキャン*	208	193	-15	-7.3%
アンピソーム	28	24	-4	-12.9%
クレセンバ	3	13	10	346.4%
キューテンザ	5	6	1	10.3%
ディアノクリア	6	6	0	-6.9%

* アデノスキャンヒレキスキャンの合算

注: EMEA 欧州・中東・アフリカ

4) 米州・EMEAの売上高の状況<現地通貨>

米州

(単位:MS)

	16/3期 1Q	17/3期 1Q	増減	増減率
売上高	946	995	49	5.2%
XTANDI	307	347	40	12.9%
米国	298	330	32	10.7%
米州(米国以外)	9	16	8	90.8%
タルセバ	108	87	-21	-19.6%
米国	80	63	-17	-21.6%
米国以外	28	24	-4	-13.9%
ベシケア	141	126	-15	-10.7%
ミラベトリック	81	119	38	47.5%
プログラフ	69	71	2	2.8%
スキヤン*	171	178	7	4.0%
マイカミン	27	29	2	6.7%
アンピソーム	23	23	-1	-2.2%
クレセンバ	2	12	9	400.9%

* アデノスキャンとレキスキャンの合算

EMEA

(単位:ME)

	16/3期 1Q	17/3期 1Q	増減	増減率
売上高	609	699	90	14.8%
XTANDI	109	164	55	50.6%
エリガード	33	36	3	9.3%
ベシケア	76	71	-5	-6.3%
ベットミガ	25	29	4	16.9%
オムニック	42	35	-7	-16.9%
自販	35	30	-5	-14.8%
バルクロイヤリテイ	7	5	-2	-27.8%
プログラフ	150	162	12	8.2%
自販計	146	156	10	6.8%
内、アドバグラフ	56	65	9	15.6%
輸出外部売上	4	6	2	59.8%
マイカミン	21	23	1	6.9%
キューテンザ	4	5	1	21.3%
ディファイリア	5	5	0	2.4%

注: EMEA 欧州・中東・アフリカ

8. 連結財政状態計算書

(単位: 億円)

	2016年3月31日		2016年6月30日		増減
	金額	金額	金額	金額	
資産合計	17,993	16,936			-1,057
非流動資産合計	9,018	8,547			-471
有形固定資産	2,010	1,921			-88
のれん	1,529	1,397			-133
その他の無形資産	3,357	3,196			-161
売上債権及びその他の債権	241	266			25
持分法で会計処理されている投資	24	18			-6
繰延税金資産	815	800			-15
その他の金融資産	894	816			-78
その他の非流動資産	148	133			-15
流動資産合計	8,975	8,389			-586
棚卸資産	1,617	1,582			-35
売上債権及びその他の債権	3,276	3,361			85
未収法人所得税	164	33			-131
その他の金融資産	144	127			-17
その他の流動資産	172	166			-6
現金及び現金同等物	3,600	3,120			-480
売却目的で保有する資産	2	-			-2

注: 2016年2月に成立したオカタ セラピューティクス Inc. (2016年5月に社名をアステラス インスティテュート フォー リジェネレイティブ
 メディシンに変更) の買収における暫定的な公正価値の修正に伴い、前連結会計年度の連結財政状態計算書を遡及修正した。
 詳細については決算短信P.17を参照

(単位:億円)

	2016年3月31日		2016年6月30日		増減
	金額	金額	金額	金額	
資本及び負債合計					
資本合計	17,993	16,936	17,993	16,936	-1,057
親会社の所有者に帰属する持分合計	12,592	11,905	12,592	11,905	-687
資本金	1,030	1,030	1,030	1,030	-
資本剰余金	1,769	1,769	1,769	1,769	0
自己株式	-1,571	-474	-1,571	-474	1,097
利益剰余金	9,731	8,938	9,731	8,938	-792
その他の資本の構成要素	1,634	642	1,634	642	-992
負債合計	5,401	5,031	5,401	5,031	-370
非流動負債合計	1,268	1,065	1,268	1,065	-202
仕入債務及びその他の債務	16	12	16	12	-4
退職給付に係る負債	398	393	398	393	-5
引当金	71	85	71	85	14
その他の金融負債	7	8	7	8	1
その他の非流動負債	776	568	776	568	-208
流動負債合計	4,134	3,966	4,134	3,966	-168
仕入債務及びその他の債務	1,816	1,588	1,816	1,588	-228
未払法人所得税	193	91	193	91	-102
引当金	899	811	899	811	-88
その他の金融負債	15	365	15	365	350
その他の流動負債	1,211	1,111	1,211	1,111	-100

前回の決算発表時(2016年5月11日)からの変更箇所を下線

1. グローバル開発品

(1) 当局の判断

*共同研究により創出された化合物を含む(以下同様)

開発コード 一般名	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階 地域	剤形	自社* 導入	備考
YM905 ソラフェニン	ムスカリンM ₃ 受容体拮抗剤	5歳から18歳の 小児における 過活動膀胱	欧州	経口	自社	Type 2 variationの手続き終了 の連絡を受領。適応症としては 承認されなかったが、小児の情 報が添付文書に反映され、6か 月の独占期間延長が可能となっ た。

(2) 申請

開発コード 一般名	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階 地域	剤形	自社/ 導入	備考
MDV3100 エンザルタミド	アンドロゲン受容体 阻害剤	転移性去勢抵抗性 前立腺がん (錠剤)	欧州 申請 (2016年3月)	経口	Medivation	剤形追加

*2016年2月に米国で錠剤の剤形追加について申請を行ったが、取り下げた。

(3) 第三相～第二相(1/3)

開発コード 一般名	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階 地域	剤形	自社/ 導入	備考
MDV3100 エンザルタミド	アンドロゲン受容体 阻害剤	非転移性去勢抵抗性 前立腺がん	米国/欧州/アジア P-III	経口	Medivation	効能追加
		非転移性生化学的再発 前立腺がん	米国/欧州/アジア P-III			効能追加
		転移性ホルモン感受性 前立腺がん	米国/欧州/ 日本/アジア P-III			効能追加
		トリプルネガティブ乳がん	米国/欧州/ 日本/アジア P-III			効能追加
		乳がん (ER/PgR陽性、 HER2陽性)	米国/欧州 P- II			効能追加
		肝細胞がん	米国/欧州/アジア P- II			効能追加
ASP0113 (VCL-CB01)	サイトメガロウイルス DNAワクチン	造血細胞移植時の サイトメガロウイルス感染抑制	米国/欧州/日本 P-III	注射	Vical	
		臓器移植時の サイトメガロウイルス感染抑制	米国/欧州 P- II			
YM905 ソラフェニン	ムスカリンM ₃ 受容体拮抗剤	小児の 神経因性膀胱	米国/欧州 P-III	経口	自社	効能追加 (小児)

(3) 第三相～第二相(2/3)

開発コード 一般名	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階 地域	剤形	自社/ 導入	備考
EB178 ソラフェニシ/ミラベグロン	ソラフェニシとミラベグロンの併用療法	過活動膀胱における尿意切迫感、頻尿及び切迫性尿失禁	米国/欧州/ アジア P-III	経口	自社	
フィダキソマイシン	大環状抗菌剤	感染性腸炎 (適応菌種: クロストリジウム・デフィシル)	日本 P-III	経口	Merck	効能追加 (小児)
		小児における クロストリジウム・ デフィシル感染症	欧州 P-III			
ASP015K <u>peficitinib</u>	JAK阻害剤	関節リウマチ	日本/アジア P-III 米国/欧州 P-II	経口	自社	
ASP1517 (FG-4592) ロキサデュスタット	HIF安定化剤	慢性腎臓病(保存期及び透析期)に伴う貧血	欧州 P-III 日本 P-III	経口	FibroGen	
ASP2215 gilteritinib	FLT3/AXL阻害剤	急性骨髄性白血病	米国/欧州/ 日本/アジア P-III	経口	自社	
		非小細胞肺癌	米国/ 日本/アジア P-I			
ASP8273	変異選択的 非可逆 EGFR阻害剤	非小細胞肺癌	米国/欧州/ 日本/アジア P-III	経口	自社	
YM178 ミラベグロン	β_3 受容体 作動薬	小児の神経因性膀胱	欧州 P-III	経口	自社	効能追加 (小児)
YM311 (FG-2216)	HIF安定化剤	腎性貧血	欧州 P-II 日本 P-I	経口	FibroGen	
<u>ASKP1240</u> <u>bleselumab</u>	抗CD40抗体	<u>生体腎移植患者における 再発性巣状糸球体硬化症*</u>	米国 P-II	注射	協和発酵 キリン	
<u>ASP1707</u>	GnRH受容体 アンタゴニスト	子宮内膜症	欧州/日本 P-II	経口	自社	
		関節リウマチ	日本 P-II			
ASP8232	VAP-1阻害剤	糖尿病性腎症	欧州 P-II	経口	自社	
		糖尿病黄斑浮腫	米国 P-II			

*「臓器移植における拒絶反応の抑制」を対象として米国で第II相段階、日本で第I相段階にあったが、今後の開発は「生体腎移植患者における再発性巣状糸球体硬化症」を対象を絞って進めることにした。

(3) 第三相～第二相(3/3)

開発コード 一般名	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階 地域	剤形	自社/ 導入	備考
ASP3662	11β-HSD1 阻害剤	糖尿病性神経障害性疼痛	米国 P- II	経口	自社	
		アルツハイマー病	米国 P- I			
CK-2127107	速筋トロポニン 活性化剤	脊髄性筋萎縮症	米国 P- II	経口	Cytokinetics	
		慢性閉塞性肺疾患	米国 P- II			
ASP7962	TrkA阻害剤	変形性関節症	欧州 P- II	経口	自社	
AGS-16C3F	ENPP3を 標的とするADC	腎細胞がん	米国/欧州 P- II	注射	自社 (ADC技術を Seattle Genetics から導入)	
RPE細胞 プログラム	細胞治療 (網膜色素上皮 細胞)	萎縮型加齢黄斑変性、 Stargardt病	米国 P- II	注射	自社 (Astellas Institute for Regenerative Medicine)	

2. ローカル開発品：日本

(1) 申請中

開発コード 一般名	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階 地域	剤形	自社/ 導入	備考
ASP7374	インフルエンザ ワクチン	季節性インフルエンザ の予防	日本 申請 (2014年5月)	注射	UMNファーマ	
ASP1585 (AMG 223) ビキサロマー	アミン機能性 ポリマー	透析中の慢性腎臓病 患者における高リン血症 (顆粒製剤)	日本 申請 (2015年9月)	経口	Amgen	剤形追加
ASP0456 リナクロチド	グアニル酸 シクラーゼC受容体 作動薬	便秘型過敏性腸症候群	日本 申請 (2016年2月)	経口	Ironwood	

(2) 第Ⅲ相～第Ⅱ相

開発コード 一般名	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階 地域	剤形	自社/ 導入	備考
FK949E ケチアピリン	セロトニン・ドパミン 拮抗剤	双極性障害における うつ状態	日本 P-Ⅲ	経口	AstraZeneca	効能追加 剤形追加
ASP3550 テガレリクス	GnRH受容体 アンタゴニスト	前立腺がん (3か月製剤)	日本 P-Ⅲ	注射	Ferring	剤形追加
AMG 785 romosozumab	抗スクロスチン抗体	骨粗鬆症	日本 P-Ⅲ	注射	Amgen [アステラス・ アムジエンと 共同開発]	
イプラグリフロジン/ シタグリプチン	イプラグリフロジンと シタグリプチンの 配合剤	2型糖尿病	日本 P-Ⅲ	経口	自社 [MSD、 寿製薬と 共同開発]	
ASP1941 イプラグリフロジン	SGLT2阻害剤	1型糖尿病	日本 P-Ⅲ	経口	自社 [寿製薬と 共同開発]	効能追加
ASP0456 リナクロチド	グアニル酸 シクラーゼC受容体 作動薬	慢性便秘	日本 P-Ⅲ	経口	Ironwood	効能追加
ASP7373	インフルエンザ ワクチン	インフルエンザ (H5N1)の予防	日本 P-Ⅱ	注射	UMNファーマ	
AMG 103 プリナツモマブ	抗CD19 BiTE抗体	急性リンパ性白血病	日本 P-Ⅱ	注射	Amgen [アステラス・ アムジエンと 共同開発]	

3. 第 I 相

開発コード 一般名	対象疾患	剤形	自社/導入
ASG-22ME <u>enfortumab vedotin</u>	固形がん、尿路上皮がん	注射	自社 [Seattle Geneticsと共同開発]
ASG-15ME	尿路上皮がん	注射	自社 [Seattle Geneticsと共同開発]
ASP5878	がん	経口	自社
AGS67E	悪性リンパ腫	注射	自社 (ADC技術をSeattle Geneticsから導入)
ASP2205	腹圧性尿失禁	経口	自社
ASP5094	関節リウマチ	注射	自社
ASP4132	がん	経口	自社
ASP4345	統合失調症に伴う認知機能障害	経口	自社
ASP6282	低活動膀胱	経口	自社
ASP4070 (JRC2-LAMP-vax)	スギ花粉症	注射	Immunomic Therapeutics
ASP0819	線維筋痛症	経口	自社
ASP8062	線維筋痛症	経口	自社
ASP7398	夜間頻尿	経口	自社
ASP6294	膀胱痛症候群/間質性膀胱炎	注射	自社
ASP7266	重症喘息	注射	自社
<u>ASP0892</u>	<u>ヒーナツアレルギー</u>	注射	<u>Immunomic Therapeutics</u>
<u>AGS62P1</u>	急性骨髄性白血病	注射	自社 (EuCODEを用いたADC技術を Ambrxから導入)

4. その他、前回の決算発表時(2016年5月11日)からの変更箇所

- ・日本において2016年2月に効能追加が承認されたキックリン(ピキサロマー)の記載を削除した。